

# 報 告 書

平成 28 年 12 月 19 日

所 属	神奈川県立上鶴間高等学校同窓会役員会	氏 名	佐藤 秀一
件 名			
岡部佳文前校長への面談結果及び、まなびや基金の活用法提示など…			
要 旨			
現時点での麗鶴会の指針である修繕の権利を県に付与する方法は現実的ではない。とは言え、前回の会議で相互確認した様に母校の美化を目的に行動するためには新旧問わず方法を模索する必要性を感じた。面談で幾つか方法を打診されたのでこれについても後述する。			
詳 細			
岡部先生と所用で面談した際に現時点で当会が直面している課題について元管理者としての意見を求めた。基本的に、学校修繕費或いは備品購入に関しては神奈川県まなびや基金に入金後学校管理者が改善プランを決定しそれを基に県が修繕、購入を行うプロセスとなっていることを確認。まなびや基金のHPに記載されている情報では特定の高等学校に入金する事ができるが、その入金後の使用用途を入金元が予め指定できるのか、不明であったため当基金問い合わせ先神奈川県教育局行政部財務課にアポイントメントを取り12/9に担当山下さんと直接面会し会談。そこで前述したプロセスであることを再確認。当日夜、役員全員へ現時点での事態の進捗状況を報告。今回の役員会で報告書を提示する運びとなった。			
意見または特記事項など			
上鶴間高校を指定し、まなびや基金に入金しても使用用途のプランニングは学校管理グループが行う。その事から、学校管理グループに予め入金目的の説明を行う事で施設修繕に充てる事が可能になるのでは？ また、今までアスベストの件で方法を模索していたが、このまなびや基金を活用すればそういった事態を抜きにして施設修繕ということで解決を図れるのではないか。			
神奈川県教育局行政部財務課 まなびや基金担当山下さん連絡先 045-210-8105			

本人	副会長	会長